

表1 <調査表、記録類の確認で感じた点>

調査項目	調査表、記録類の確認で感じた点
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの学校も日常点検、定期検査ともに、ほぼすべての項目について実施、記録されている。 ・学校薬剤師の執務回数が非常に多く、ほとんどが10回以上で、30回以上の学校もあり活動が充実している。 ・学校薬剤師が新型コロナウイルス感染症対策の指導に数多くあたっており、特に換気や消毒についてきめ細かい、適切な指導がなされている。教室内の二酸化炭素濃度の記録を見てもその成果がうかがえる。 ・新型コロナウイルス感染症対策として手洗いや消毒、換気などに多くの指導助言がみられる。検査結果より、改善方法などが記載され、学校側が環境衛生を整えるために十分に活用できている。

表2 <学校独自の取り組みとして評価できる事例>

調査項目	学校独自の取り組みとして評価できる事例
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・学校薬剤師によりなされた新型コロナウイルス感染症対策の指導について、「学校薬剤師より、新型コロナウイルス感染症対策についてご指導いただいたこと」として、とりまとめ記録されている。 ・コロナ禍において、学校薬剤師が学校と密に連絡を取り、新型コロナウイルス感染症対策の相談に親身になって応じ、学校内環境を確認している。 ・「保健の授業のシナリオ」を学校薬剤師が養護教諭と協力して作り上げている。 ・学校薬剤師は、計画、打ち合わせ、検査・指導と手順を踏んでおり、学校側との連携がよくとれている。 ・飛沫感染防止用の衝立を作成して給食時等に使用していたり、マスクを外した時の個別のマスク入れを準備するなど、新型コロナウイルス感染症対策に工夫がある。 ・鳥の飛来に対して、防鳥ネットの対策を提案するなど迅速な対応がなされている。
保健委員	<p><日常点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健委員が炭酸ガス検知器を使って換気的重要性を再確認し、換気ルールを定着させている。照度についても、照度計を使い測定することで、実際に照度の基準適合状況を把握している。
教室等の環境	<p><日常点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの採用によりホワイトボード自体の反射(まぶしさ)をチェック項目に追加している。 ・季節によってチェック項目を変えている。換気についてはチェック項目を増やし徹底していることがうかがえる。 ・ICTの日常点検を導入している学校がある。現状、独自に管理方法を工夫し運用していると考えられる。 ・点検内容に清潔習慣も盛り込み毎日点検することで、爪切りやハンカチ・ティッシュを必ず携帯する必要があることが児童に浸透させている。

<p>教室等の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室に CO₂モニターを設置し、児童が数値で換気を意識できるようにしている。 ・日常点検表にインフルエンザ感染の危険度チェック表などが載せられており、児童が測定した結果について考えることができる様式になっている。 ・日常点検の結果を鑑み、室温が高い時だけでなく、湿度が高い日も水分をこまめに摂ることや、除湿の呼びかけ等の対策をとり、湿度計がない場所には、新たに設置するなどコロナ禍で、熱中症予防への対応も実施されている。 ・教室の環境で毎月の重点目標を設定して日常点検を実施している。 <p><定期検査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準超過の場合に結果に対する指導、助言がしっかりされている。 ・換気及び保温等で FF 式ファンヒーター使用時の測定で、浮遊粉じん測定は 1 回目の測定で省略基準を下回っており、2 回目は省略していることを明記している。 ・CO₂モニターを用いて、教室の換気の状態を生徒が自分たちでデータを把握して改善する活動を実施している。検査結果を活用して大型扇風機を導入して、気流の改善、換気に努めている。 ・検査結果を基にサーキュレーターの効果的な使い方を理解し、換気に心がけるようになっている。 ・換気及び保温等の測定時の数値の変動（外気の一時的な吹き込み等）を細かく記載し、測定時の状況を把握できるように記録している。 ・採光と照明で、カーテンを引いた場合と引かない場合で照度測定を実施し、対応を検討している。 ・黒板の定期検査結果を基に、黒板の張替えを行っている。
<p>飲料水の水質、施設設備</p>	<p><日常点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査を実施した児童の感想を記録している。 ・点検場所について、当番制として保健委員の分担が明確になっており、チェック項目に「窓開け呼びかけ」「手洗い呼びかけ」の欄もあって、1 日 1 枚の様式でチェック表に工夫が見られる。
<p>給食の衛生管理</p>	<p><日常点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の給食時点検表を作成し、点検を実施している。

表 3 <調査表、記録類の提出で確認された事例>

調査項目	指導・助言が必要な事例
<p>全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執務記録と定期検査の内容に食い違いがある。学校保健安全委員会への参加が執務記録に書かれていない。執務記録には、電話やメールでの指導、助言も含め記録することで、学校薬剤師の活動が把握できるようにするとよい。執務記録の内容は、学校薬剤師も都度確認をされたい。
<p>教室等の環境</p>	<p><定期検査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査者職名のところは「薬剤師」ではなく「学校薬剤師」と記入されたい。

<p>教室等の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導、助言の欄が空白であるものがあつた。基準超過ではもちろん、基準を満たしていても空白にはせずコメントする。 ・ネズミ、衛生害虫の定期検査は、春季から秋季に検査をするのがよい。 ・WEB調査表で、換気及び保温等の一酸化炭素は、燃焼式暖房器具を使用していないため省略しているが、二酸化窒素は2回実施していて矛盾がみられる。 ・換気及び保温等で「窓開けの様子」、「測定時の状況」の記載が不十分である。換気の様子やエアコン稼働状況を記載しておき、測定結果に合わせて指導、助言することが必要である。 ・外気の炭酸ガス濃度が未記入である。 ・測定を省略している二酸化窒素の測定機器名を記入しているが、記入は不要である。 ・換気及び保温等の検査票が旧様式のため、測定機器名が記載されていない。 ・採光と照明で、黒板付近のグレアの項の記載がない。 ・騒音検査を夏休み中に行っていたが、生徒がいる状況で校内の要因も含めて検査する方がよい。 ・騒音検査で、24時間換気扇が稼働しており、窓閉めて基準超過している。原因は換気扇としているが、その対応については未記入であった。指導、助言をされたい。
<p>飲料水の水質、施設設備</p>	<p><日常点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒が実施した場合、検査した人の名前を記載し、教員による確認を記録しておく。 ・飲料水の日常点検の遊離残留塩素の記入欄で、項目名や単位が正確に書かれていない。項目は「遊離残留塩素」、単位は「mg/L」である。(ppmは使用しない。) ・遊離残留塩素 0.05mg/L の記載があり、基準を満たしていないが、基準に満たない場合の対応について記載がないので、記載し記録を残すようにするとよい。 ・色・濁り・味・においを1つのチェック欄で記録しているが、それぞれの項目に分けて確認できる様式にするのがよい。
<p>給食の衛生管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査で、共同調理場の受配校であるのに学校給食調理場用の様式を使用していたり、自校内調理であるのに受配校用の様式を使用している。適切な記録様式を使用されたい。